



安行小だより

安行小学校 夏休み号
令和6年7月19日

目指す学校像

よさを認め、学び合い高め合い、やる気と笑顔あふれる学校（個の伸長 公の育成）
～自分の得意を知り粘り強く取り組む子の育成 チャレンジ安行～

「一人の100歩は大変だけど 百人の1歩ずつなら、100歩になる」

校長 春川 嘉孝



先日、吉祥寺にある大学を会場に「武蔵野市男女共同参画フォーラム2024」が開催されました。毎年、6月12日が「児童労働反対世界デー」なので、私は「女の子の挑戦と子どもの権利」に参加しました。

はじめに認定NPO法人ACE（※1）の「バレンタイン一揆」という映像を見て、講師の方から、児童労働の実態と団体の活動についてわたしたちができることなどについて、お話がありました。「児童労働」「フェアトレード」というワードはすでに皆さんもお聞きになったことや、すでに関心を寄せている方も多くいらっしゃると思います。世界の中には「どうしても子供が学校にいけない」「どうしても子供を働かせなくてはならない」という環境の中で生活しなくてはならない現実があります。また「子供を学校に通わせること、教育の大切さを知らない」「女の子は教育を受ける必要はない」という考えが根強いことも関係しています。学校に通うようになることで、生活リズムが整い家庭での会話も増え、夢や希望がもてるようになったという話も聞きます。1時間程度の講話の中から、わたしたちができることについて「エシカル消費」（※2）というキーワードが現れます。家庭で過ごす夏休み、ぜひ、ご家庭のなかで「エシカル消費」に取り組んでみてはいかがでしょうか。

（※1 NPO法人ACE：ガーナ、インドを中心にカカオ産業やコットン産業に関わる児童労働の解消を目指して支援している団体です）

（※2 地域の活性化や雇用などを含む人や社会、環境に配慮した消費行動：消費者庁）

【安行小の子供たち、すごしてほしいこんな夏休み】

今年度安行小学校に着任した職員、子供たちにとっては、普段なかなか話す機会の少ない事務職員より。

子供の頃の夏休みと言えば、たくさん本を読んでいた気がします。「こんな知識を身に付けたいから、こんな本を読まなければ」なんてことを考える大人の今と比べると、自由に本を選び、好きなだけ読んでいました。普段なら読めない分厚い本やシリーズもの、普段は選ばないジャンルの本等、いろいろ手に取って読み、心の栄養にしてほしいと思います。

教頭：関根 光一

毎週の土・日曜2日間の休みとは違い、夏休みはとても長い時間があります。たくさん時間があるからこそできること、またはやりたいことを始めるうちに考えておくと良いかと思えます。暑い日が続くので、無理せず身体を休めることももちろん大事です。しっかりと休んで、たくさんやりたいことをして「楽しくて満足した」と最後に言える夏休みにぜひしてください。

事務：濱松 圭介

私が小学校時代何をしたかなと思いついてみました。自由研究で「埼玉平和資料館」に行ったことを思い出しました。当時のミニ授業を受けた後、実際設置された防空壕へ隠れるという体験をしました。改めて平和について考えるきっかけになりました。普段は机の上でしている勉強も、場所が変われば得られる知識もあると思います。

事務：榎本 安見

夏季休業中について

☆お子さんの学習・生活等気にかけていただき何か心配なことがあれば、ご連絡ください。

☆交通事故や事件にも巻き込まれないよう、子供たちへの声かけもお願いいたします。自転車に乗る際はヘルメット努力義務となっておりますが、万一のことを考慮しよろしく願います。

☆家庭で過ごすことが多くなる夏休みです。家庭での役割をご家族で話し合い、家族の一員としての自覚と家庭は、皆が支え合っていることを実感を伴って体験させてください。

☆SNSによるトラブルが小中学生でも問題になっています。相手の気持ちを想像する、相手も自分も同じように大切な存在であることを、ぜひ、ご家族で話していただきトラブルに巻き込まれないようお願いいたします。

☆学校のこと、友達のことなど、お子さんの心配ごとなど、お子さんとの会話を大切にしてください。心配なことがあれば学校までお知らせください。